

梅の名所賀名生周辺の魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- 五條高校賀名生分校跡地は高台になっており、賀名生梅林や五新鉄道跡、南朝皇居跡および周辺の集落をのぞむことができるが、跡地は草原となっており、視点場として有効活用されていない。
- 一の木ダム周辺には梅栽培圃場があり、春には賀名生梅林を上回るほどの素晴らしい景観であるが、視点場として整備されておらず、また、生長した沿道の樹木が果樹園や一の木ダム湖への眺望を阻害している。

課題解決
への
主な対応

- 視点場の整備
- 支障木伐採や剪定による眺望景観の確保

【今後の連携方策】 市、教育委員会、観光協会、地域住民等との協働に向けた取り組みの働きかけや支援方策の検討。

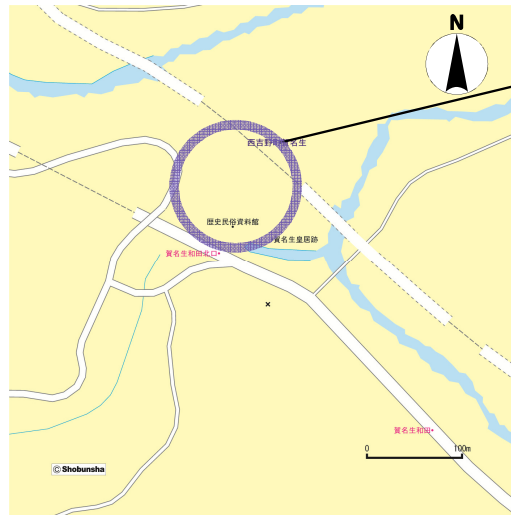
◆エリアの特徴的な景観



北畠親房墓前よりの周囲の景観



一の木ダム

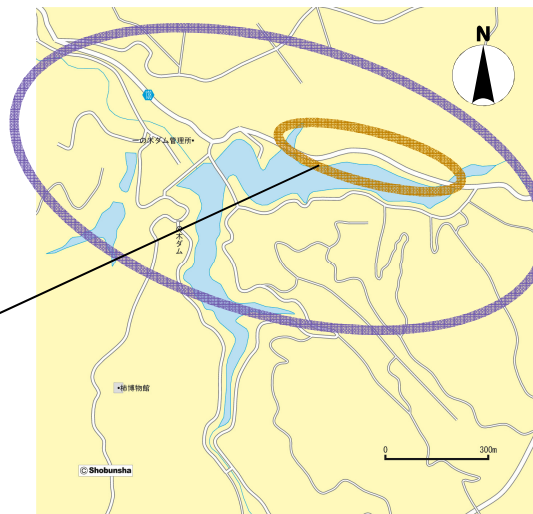


□五條高校賀名生分校跡地周辺

長期 支障木伐採や剪定による視点場の整備を行い、周囲を見下ろす眺望の確保を図ることが望ましい



現況写真



□一の木ダム周辺

長期 梅栽培圃場の視点場を整備し、景観資源への眺望の確保を図ることが望ましい



現況写真



現況写真

□県道赤滝五條線

短期 支障木を伐採し、眺望景観の向上を図る